

「はやぶさ」展示

宇宙に関心広がる

昨年6月に地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセル特別公開が2月2日から6日まで京都大学総合博物館で行われた。期間中、同博物館には17000人の来場者があった。

FOCUS

追いかける。大学生。

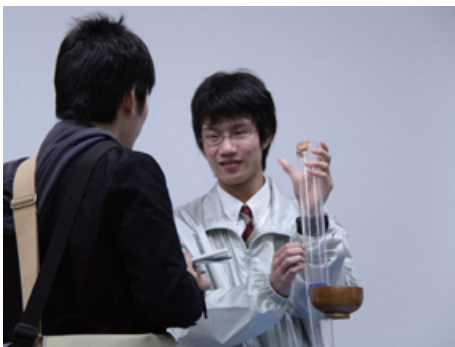
「はやぶさ」帰還が

宇宙への関心高める

昨年小惑星「イトカワ」から帰還し話題をよんだ「はやぶさ」が京都で初公開された。宇宙航空研究開発機構(JAXA)により展示する団体の公募があり、同博物館での開催が決まり今回の公開に至った。会場にはパラシュートや「はやぶさ」に用いられたカプセル、探査機の模型が展示され、訪れた親子連れや高校生が熱心に話を聞いていた。

また同博物館の提案により堀川高校や嵯峨野高校(両校ともに京都府)の生徒が参加する「はやぶさ」委員会が作られ、「はやぶさ」の仕組みを実演で来場者に説明するスペースも設けられた。イトカワの粒子採取の方法を実演説明した堀川高校1年生の西井裕亮さんは、「(はやぶさは)調べていたものとは実際には違っていて実物はすごいと感じました。実演はとても緊張しました」と話した。そして6日は京大百周年時

計台記念ホールでシンポジウムもあり、「はやぶさ」の設計・開発にかかわった京大の研究者による講演が行われた。京大では展示期間に先立ち、小学生に対して教員や学生が宇宙科学の出前授業を行うなど「はやぶさ」をきっかけに宇宙への関心を高める取り組みも行っている。今回の展示でも京大大学院生や高校教員が来場者への展示品解説に参加したり、高校生によるパネル展示など、大学関係者以外の協力を得ながらの開催によって宇宙の魅力を伝えるイベントとなった。



UNN 関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムズ編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです